株式の上昇が目立った1-3月期の金融市場

シニア・ストラテジスト 石黒英之

ポイント① 1-3月期は株式の上昇が目立った

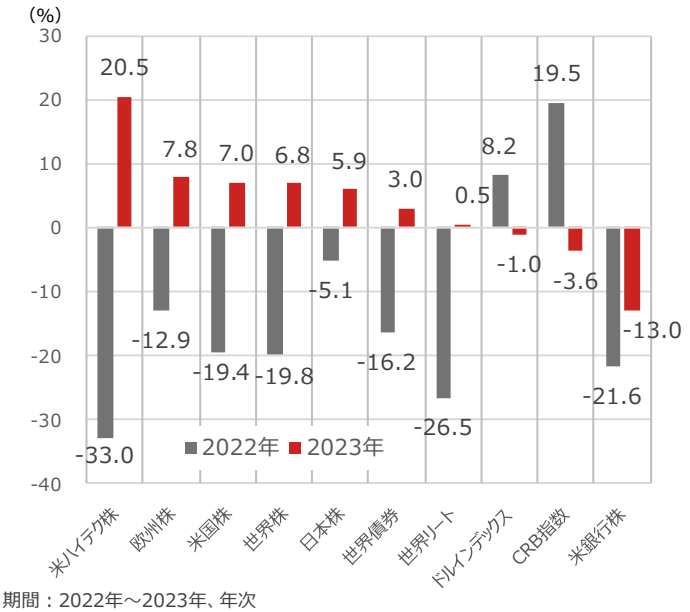
1-3月期の金融市場は、世界的に株式を見直す動きが目立ちました。特に上昇が顕著だったのが米ハイテク株で、上昇率は20%超となりました（右上図）。その一方で、3月に発生した米金融機関の破綻等を受け、金融システムへの不安が強まったことから、米銀行株が大きく下落しました。また、世界の債券が買われ、国際商品市場の総合的な値動きを示すCRB指数が下落するなど、投資家の間で世界景気の先行き不透明感が高まっていることを示唆する動きもみられました（同図）。

ポイント② 金融政策や景気動向が今後の焦点に

今後の市場を見る上で焦点となるのは米国を始めとした中央銀行の金融政策や景気、クレジットの動向です。金融システム不安が高まったことで、市場では金融機関の貸出姿勢の厳格化が、様々な分野に悪影響を及ぼすとの懸念が高まっています。米商業用不動産市場は23年に約4,000億米ドル、24年に約5,000億米ドル規模の債務返済期限を迎えるとされており、金融システムリスクが同市場へ飛び火し、「00年代後半型」のような局面に発展する可能性もあります（右下図）。

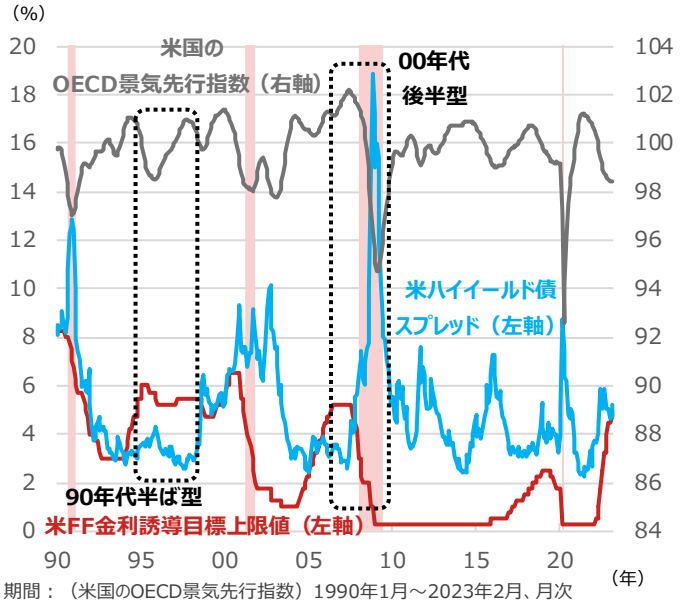
もっとも、当局の迅速な対応により、世界的な金融システム不安が早期収束に向かいつつあることは明るい材料です。米国ではインフレ鈍化の動きが続いており、市場ではFRB（米連邦準備制度理事会）が5月にも利上げを停止するとの見方が強まっています。当局の素早い対応を受けて「90年代半ば型」のように景気後退を回避できるとの確度が高まれば（同図）、リスク資産への見直しが続くこととなりそうです。

世界主要指数の騰落率



期間：2022年～2023年、年次
・2023年は3月31日までの騰落率
・米ハイテク株はNASDAQ100、欧州株はSTOXX欧州600、米国株はS&P500種株価指数、世界株はMSCI All Country World Index（米ドルベース）、日本株はTOPIX（東証株価指数）、世界債券はBloomberg Global Aggregate Index（米ドルベース）、世界リートはS&P Global REIT Index（米ドルベース）、米銀行株はS&P500銀行株指数
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

米FF金利誘導目標上限値・米ハイイールド債スプレッド・米国のOECD（経済協力開発機構）景気先行指数



期間：（米国のOECD景気先行指数）1990年1月～2023年2月、月次
（その他）1990年1月末～2023年3月末、月次
・FF金利はフェデラル・ファンド金利
・米ハイイールド債スプレッドは米10年国債利回りとの差、CSI BARC Indexを使用
・網掛けは米景気後退局面
（出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一的見解ではないものもあります。

NOMURA 野村アセットマネジメント

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。